

京都第一赤十字病院で肺切除術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

小型肺癌における気管支鏡リンパ節生検の有効性の検討

京都第一赤十字病院呼吸器外科では、手術前に気管支鏡で肺門リンパ節転移の有無を評価する研究「小型肺癌における気管支鏡リンパ節生検の有効性の検討」を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で肺手術を受けられた患者様の診療録を調査させていただきたいと考えています。

実施にあたり京都第一赤十字病院医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

2cm以下の小型肺癌について、標準手術である肺葉切除と縮小手術である区域切除の比較試験(JCOG0802/WJOG4607L)が行われ、区域切除の全生存率における優越性が示されました。ただし肺門リンパ節に転移があるとリンパ節郭清術を伴う肺葉切除が推奨されます。そのため術中にリンパ節を採取し転移の有無を判断しなければいけません。手術時間の延長や合併症の増加を来す可能性があります。本研究では、術前気管支鏡生検でのリンパ節を評価することにより、手術アウトカムが改善するかどうかを調査する研究です。

研究の方法

・対象となる方について

京都第一赤十字病院呼吸器外科で術前に気管支鏡でリンパ節生検を実施し、その後に肺手術を受けられた患者様が対象となります。

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2033（令和15）年3月31日

・方法

京都第一赤十字病院呼吸器外科で術前に気管支鏡でリンパ節生検を実施した後に、肺手術を受けられた患者様が対象となります。本研究は診療記録を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と手術後の経過を解析します。

・研究に用いる資料・情報について

診療情報：検査所見，画像所見，気管支鏡検査所見，手術情報，ドレーン留置期間、術後合併症の有無，病理所見 等

・利用又は提供を開始する予定日

利用開始日：倫理審査委員会承認日

・個人情報の取扱いについて

手術時に情報はすべて匿名化され、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工されるため、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

・研究組織

研究責任者：京都第一赤十字病院呼吸器外科 部長 上島 康生
京都第一赤十字病院呼吸器外科 副部長 石原 駿太
京都第一赤十字病院呼吸器外科 医員 本田 和暉

お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2033（令和15）年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

京都第一赤十字病院呼吸器外科

職・氏名 副部長・石原駿太 電話：075-561-1121（代表）

E-mail: shunta-ishihara@kyoto1.jrc.or.jp

受付時間 月曜～金曜 9：00～16：00（土日・祝日を除く）